

## 提言に対する改善報告書

大学名称 石川県立看護大学 (評価申請年度 2005 年度 2006 年度承認)

## 1. 助言について

No.	種 別	内 容
1	基準項目	教育内容・方法
	指摘事項	学生による教員に対する授業評価の実施は個々の教員に委ねられており、大学として統一的、客観的に評価できるシステムの構築が望まれる。
	評価当時の状況	申請年度に、本学にて FD 委員会が設立された。初めの1年間は試行期間として、学生からの授業評価は各学年で1科目のみ実施した。2006 年度から、全科目について授業評価を実施し、現在に至る。
	評価後の改善状況	全科目について学生は無記名で授業評価を行い、FD 委員会にて集計し、各教員に結果をフィードバックしている。
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等 授業評価票(講義用)、授業評価票(実習用)、回答用マークシート	
	<大学基準協会使用欄>	
	検討所見	
改善状況に対する評定	1      2      3      4      5	

No.	種 別	内 容
2	基準項目	教育内容・方法
	指摘事項	シラバスは一定の書式で作成されているが、教員によって記載内容にばらつきがある。2005(平成 17)年度のシラバスにおいては改善がみられるが、なお一層の努力を期待したい。また、シラバスに記載されている教員と講義担当者が一致しない点も改善する必要がある。
	評価当時の状況	シラバスは一定の書式に基づいて担当教員個々が作成していたため、記載内容に若干ばらつきがあった。また、シラバス印刷以降に教員の転任、担当者の変更などがあり、教員名と実際の講義担当者が一致しない点が2箇所あった。
	評価後の改善状況	助言に基づき、シラバス作成の手順の徹底し、改善したので、現在は不備はみられない。
改善状況を示す具体的な根拠・データ等 シラバス 2010 1冊		
< 大学基準協会使用欄 >		
	検討所見	
	改善状況に対する評価	1      2      3      4      5

## 2. 勧告について

なし

〈 改善報告書検討結果（石川県立看護大学） 〉

[1] 概評

2005（平成 17）年度の本協会による加盟判定審査に際し、問題点の指摘に関する助言として2項目の改善報告を求めた。今回提出された改善報告書からは、これらの助言を真摯に受け止め、意欲的に改善に取り組んでいることが確認できる。

ただし、教育内容・方法において、学生による授業評価アンケートの結果を学生に対して公表することについては、検討することが望まれる。

[2] 今後の改善経過について再度報告を求める事項

なし

以 上